

令和3年度 シラバス

教科名		国語	科目名	古典 B	履修学年	第 3 学年
単位数		3 単位（文Ⅱ、子）	使用教材	精選古典 B 新版 東京書籍		
科目目標		・ 古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 ・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解する。 ・ 古典の作品や文章について内容と解釈を自分自身の経験に結びつけ、考えを深める。				
履修上の注意		・ 古文単語 3 2 5 の持参。辞書、便覧等の活用とともに、探求と考察を大事にすること。 ・ 受け身ではなく積極的に授業に参加する。				
学期	時期	単元名		学習内容		
1	中間 考查 まで	・ 十訓抄 成方といふ笛吹き ・ 紫式部日記 女郎花 ・ 和泉式部日記 夢よりもはかなき世の中を ・ 詩 李白と杜甫		○段落ごとの内容を正確に読み取り、説話の面白さを味わう。 ○説話、日記のテーマ、情景について考える。 ○和歌について理解を深める。 ○詩の語句・句法に注意して鑑賞する。		
	期末 考查 まで	・ 十六夜日記 駿河路 ・ 源氏物語 須磨の秋【須磨】 ・ 荊軻伝 史記		○本文の表現から作品の特徴を捉える。 ○和歌から詠み手の心情を理解する。 ○場面状況を把握し、文章の内容を展開に即して的確に捉える。 ○登場人物の心情の動きを的確に把握する。 ○描かれた登場人物の心理葛藤を理解し、歴史の面白さ、人間の生き方を考察する。		
2	中間 考查 まで	・ 古今和歌集仮名序 やまと歌は・六歌仙 ・ 無名抄 おもて歌のこと ・ 源氏物語玉の小櫛 もののあはれの論 ・ 桃花源記		○和歌の本質がどのように捉えられていたのかを考える。 ○評論文が提議する問題点を整理し、結論を読み取る。 ○筆者の述べる物語を読む意義を整理してまとめる。 ○平安時代の歌人たちが和歌をどのように理解していたのかを考える。 ○描かれた世界観を理解する。		
	期末 考查 まで	・ 落窪物語 姫君の苦難 ・ 夜の寝覚 夢に琵琶を教ふる人 ・ 無名草子 清少納言 紫式部 ・ 売油翁 唐宋八大家		○登場人物の心情を理解する。 ○話し手が考える清少納言と紫式部の人物像を把握する。 ○描かれたものの見方を理解し、考察する。		
3	学年 末考 査ま で	・ 去来抄 ・ 三冊子		○俳諧についてその文学性を考える。		
評価 方法	① 知識及び技能 (70点)		② 思考力、判断 力、表現力等 (15点)	③ 学びに向かう 力、人間性等 (15点)		
	定期考查等		課題作文 スピーチ 班別学習成果等	提出物 小テスト等		